

大阪市の小学6年女児が
会員制交流サイト(SNS)
で知り合った男に誘拐され
るなど、インターネット利
用の低年齢化が深刻な問題
を引き起こす中、日比小は
4日、スマートフォンの上

子ども ネット

手な利用をテーマに、玉野
高生による出前講座を開い
た。4～6年生と保護者計
約110人が、安易な利用に
潜む危険を知り、家庭でル
ールを話し合う大切さを学
んだ。(松山定道)

スマホ利用ルール必要

日比小で玉野高生が出前講座

玉野高は県内の中高生がス
マホの適切な利用について考
える「OKAYAMAスマホ
サミット」に毎年参加。校内
でも積極的に啓発活動してい
ることから、日比小が依頼し
た。

同高生徒会の6人が講師。
まず「スマホを持っている人」
「携帯ゲーム機を持っている
人」と児童に挙手を促し、
「全部インターネットにつな
がる。関係ないと思わずに聞
いてほしい」と呼び掛けた。
続いてスマホサミットについ
て報告し、スマホの使用を通
して、無料通信アプリLINE
E(ライン)で仲間外れにさ
れるなどのいじめ▽ゲームの
課金による金銭問題▽使いす
ぎで成績や体調が悪くなる依
存といったトラブルが起き
かねないことを説明した。

事前に日比小で実施したア
ンケートの結果も分析。午後
9時以降はスマホを保護者に

経験踏まえ危険性説明



玉野高生が自らの経験を踏まえてスマートフォンの危険性など訴えた
出前講座

預けて利用を制限する県の統
一ルールを知っている人が25
%しかおらず、24%は利用制
介。「ゲームの面白ところ

限を考えないまま使っている
現状を「危険性がある」と指
摘した。

1日の利用時間は2年生以
上の全学年で6割以上が1時

間以上、6年では8割近くが
2時間以上だったことを紹
介。「ゲームの面白ところ
「ウイルスに感染した」友
達が恥ずかしい写真をばらま
かれた」といった生徒の生々
しい体験談もあり、児童も保
護者も熱心に聞いていた。6
年竹内悠人君(12)は「調べ学
習に自分のタブレットを使う
が、変なサイトは開かないよ
う気をつける」、藤原斗蒼君
(12)は「スマホはすごく怖い
と思った。欲しいけどルール
を守って安心して使いたい」
と話した。

「ほとんどの児童がネット
につながる機器を持ち、利用
時間が長い現状は深刻」とみ
る玉野高生徒会長の2年岩部
幸雄さん(16)は、「スマホを
使わないより、正しく使う人
の方が成績が良いというデー
タもある。依存しないように、
ルールは欠かせない」と総括
した。

玉野高生のスマホ出前講座
は2018年1月の築港小に
続いて2回目。